

# 「進学センサス2022」 ～高校生の進路選択に関する調査～

リクルート進学総研 研究員

飯島隆介

池内摩耶



## 本動画の目的

**3年に1度、高校卒業する3年生対象に、  
進路選択行動・意識について実施している調査です。  
コロナ禍前後の行動変容含め、経年比較・最終進路先別から見える、  
中長期的な「高校生の進路選択行動」変化を捉えていただきたい。**



## ■ アジェンダ

### はじめに

調査結果から見た、押さえてたい3つの進路選択行動変化

調査データ利活用のお知らせ～進学センサスDATABOOK～

# 「進学センサス2022～高校生の進路選択に関する調査～」

## 調査概要

■ **調査対象**：2022年に高校を卒業した全国の男女210000人

令和3年度学校基本調査の「全日制・本科3年生生徒数（県別）、中等教育学校後期課程3年生」を基にリクルートが保有するリスト(※)より調査対象とする数を抽出 (※)スタディサプリ会員リスト

■ **有効回答数**：14968人（回答率7.1%）

■ **調査方法**：郵送調査＋インターネット調査

※調査票を郵送、回答を記入の上郵送または記載のURLからインターネット回答

■ **調査目的**：高校生の進路選択プロセス（行動・意識）の現状を把握する

■ **調査期間**：2022年3月4日～4月5日

# 「進学センサス2022～高校生の進路選択に関する調査～」 調査リリースについて

本調査によるリリースは「進路選択行動」編、「アドミッション・ポリシー」編の計2つ実施いたしました。  
調査リリースでは**大学進学者10841人が対象**

## 6/29「進路選択行動」編

進学センサス2022 「進路選択行動」編

進学先が第1志望校だった割合は14.8ポイント増え約7割に  
進学する大学のオープンキャンパスへの参加は増加  
志望校絞り込みが早期化へ

## 7/4「アドミッション・ポリシー」編

進学センサス2022 「アドミッション・ポリシー」編

「アドミッション・ポリシー」の認知は9割超え  
うち、個別大学について調べている高校生は16.3ポイント増加し約7割  
一方で、志望校検討時「非常に役立った」の回答は変化なしで増えず

本動画では、最終進路別「大学進学者」「短大進学者」「専門学校進学者」にお伝えします

# 「進学センサス2022～高校生の進路選択に関する調査～」

## 主な調査項目

■ 2009年より継続実施しており、**経年比較**することで、長期的な変化を捉えることができます



進路選択行動  
プロセスと  
影響メディア



OC参加状況  
と評価



進学先検討時の  
重視項目  
と進学メリット



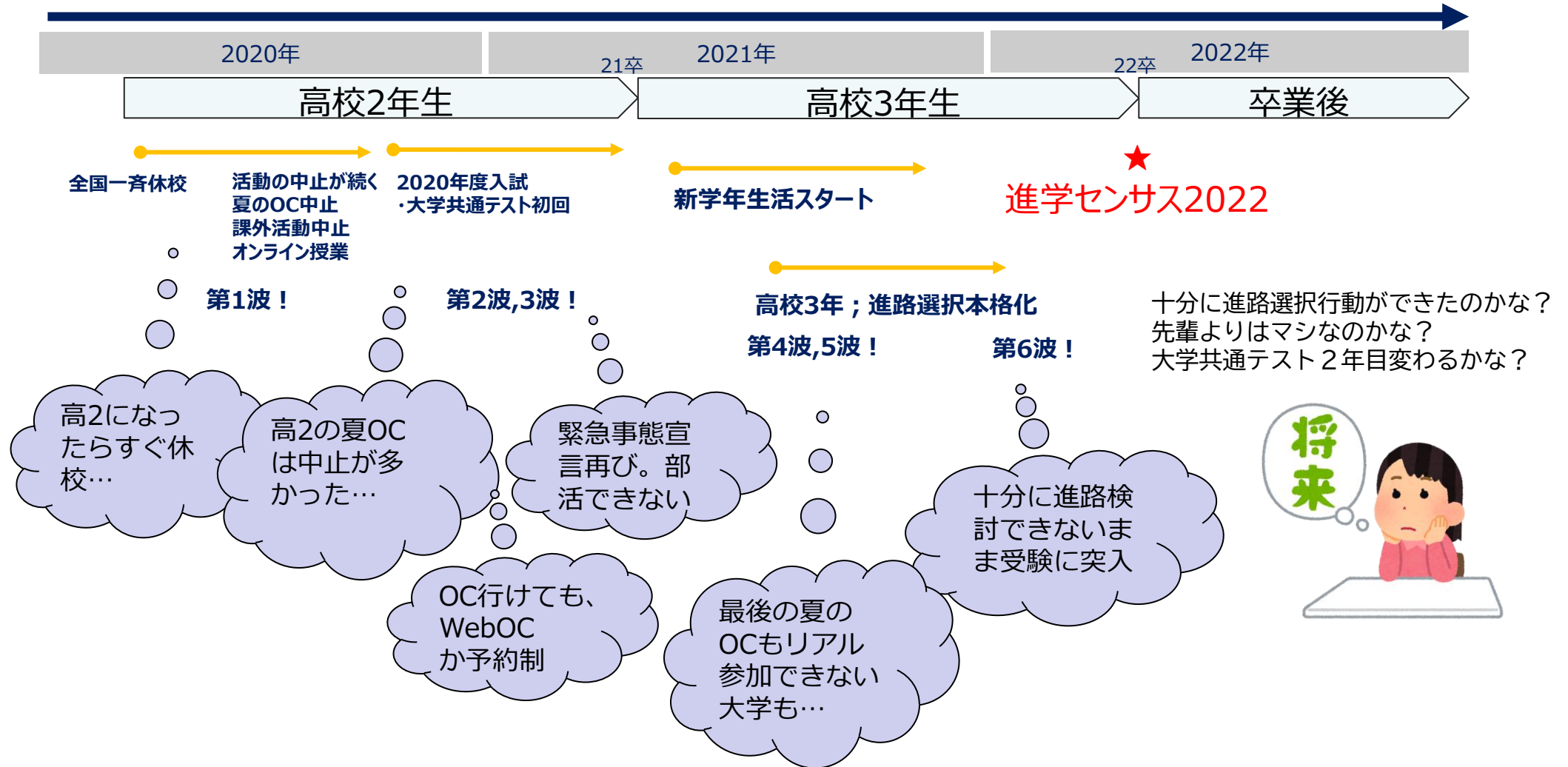
進学関連の  
情報入手状況



その年度の  
トレンド項目

# 「進学センサス2022～高校生の進路選択に関する調査～」

## 対象者とコロナ禍による進路選択行動影響



## ■ アジェンダ

はじめに

**調査結果から見た、押さえてたい3つの進路選択行動変化**

**調査データ利活用のお知らせ～進学センサスDATABOOK～**



# 調査結果から見た、押さえてたい3つの進路選択行動変化

- ① 「**志望校絞り込み**」が早期化
- ② コロナ影響でOC参加率は減少したが、  
**4月に進学する学校のOC参加は上昇**
- ③ 進学情報源は  
紙・PC → **スマホ・アプリへシフト**

# 調査結果から見た、押さえてたい3つの進路選択行動変化

① 「志望校絞り込み」が早期化

② コロナ影響でOC参加率は減少したが、  
4月に進学する学校のOC参加は上昇

③ 進学情報源は  
紙・PC → スマホ・アプリへシフト

# ①「志望校絞り込み」が早期化

## 学校調べ・資料請求など、「進路選択スタート」は年々前倒し

<データポイント>

- 最終進路の校種問わず、進路選択スタートは早まっている。短大・専各は大学より前倒し顕著。
- 高3で「学校を調べ始めた」は2割をきる。「資料請求」は高2で最も多く約4割が動く。

どんな学校があるかを調べ始めた時期（時期別単一回答）

調査年	大学進学者全体				短大進学者全体				専門学校進学者全体			
	調査数	高校1年・計	高校2年・計	高校3年・計	調査数	高校1年・計	高校2年・計	高校3年・計	調査数	高校1年・計	高校2年・計	高校3年・計
2022年	10841	37.2	35.9	19.0	545	37.6	35.6	18.7	2183	33.3	37.3	18.0
2019年	2071	36.6	33.5	21.4	93	37.6	35.5	18.3	337	29.4	38.3	24.6
2016年	3051	32.7	36.1	22.5	203	30.5	35.0	22.7	590	28.5	34.6	25.8
2013年	3256	29.9	38.3	24.3	263	24.3	39.5	27.0	731	24.2	39.3	27.8
2011年	7502	28.3	39.0	26.2	700	28.1	38.7	28.0	1479	24.0	37.7	31.4
2009年	8481	24.8	38.8	30.9	910	21.0	39.2	35.1	1890	19.4	39.0	35.3
2009→2022年		+ 12.4	▲2.9	▲11.9	+ 16.6	▲ 3.6	▲16.4	+ 13.9	▲1.7	▲17.3		

興味を持った学校の資料請求をした時期（時期別単一回答）

調査年	大学進学者全体				短大進学者全体				専門学校進学者全体			
	調査数	高校1年・計	高校2年・計	高校3年・計	調査数	高校1年・計	高校2年・計	高校3年・計	調査数	高校1年・計	高校2年・計	高校3年・計
2022年	10841	25.2	36.1	31.5	545	27.5	40.6	26.6	2183	27.4	40.8	26.7
2019年	2071	23.1	31.6	34.3	93	31.2	35.5	28.0	337	19.6	37.4	34.1
2016年	3051	21.3	31.1	37.6	203	25.6	32.0	34.5	590	21.9	38.5	30.7
2013年	3256	18.1	33.0	40.3	263	17.9	39.2	35.7	731	18.5	35.8	37.6
2011年	7502	15.1	35.0	43.2	700	18.1	33.9	42.3	1479	19.5	32.9	42.0
2009年	8481	12.2	33.3	47.1	910	13.5	32.0	49.0	1890	13.7	33.0	46.4
2009→2022年		+ 13.0	+ 2.8	▲15.6	+ 14.0	+ 8.6	▲22.4	+ 13.7	+ 7.8	▲19.7		

※「高校入学前」「あてはまるものはない」「無回答」除く

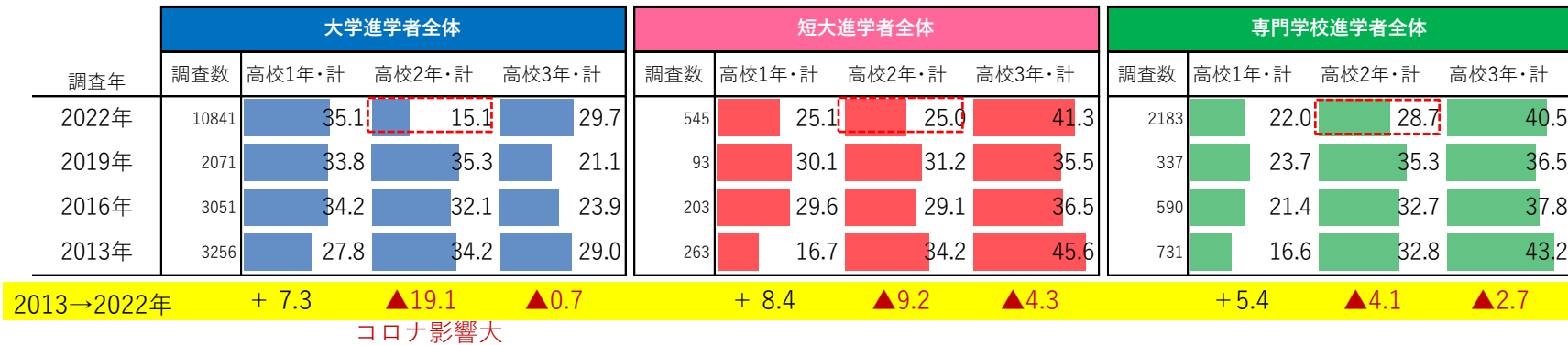
# ①「志望校絞り込み」が早期化

## 受験校を決めた時期は高3が最多だが、年々前倒し傾向

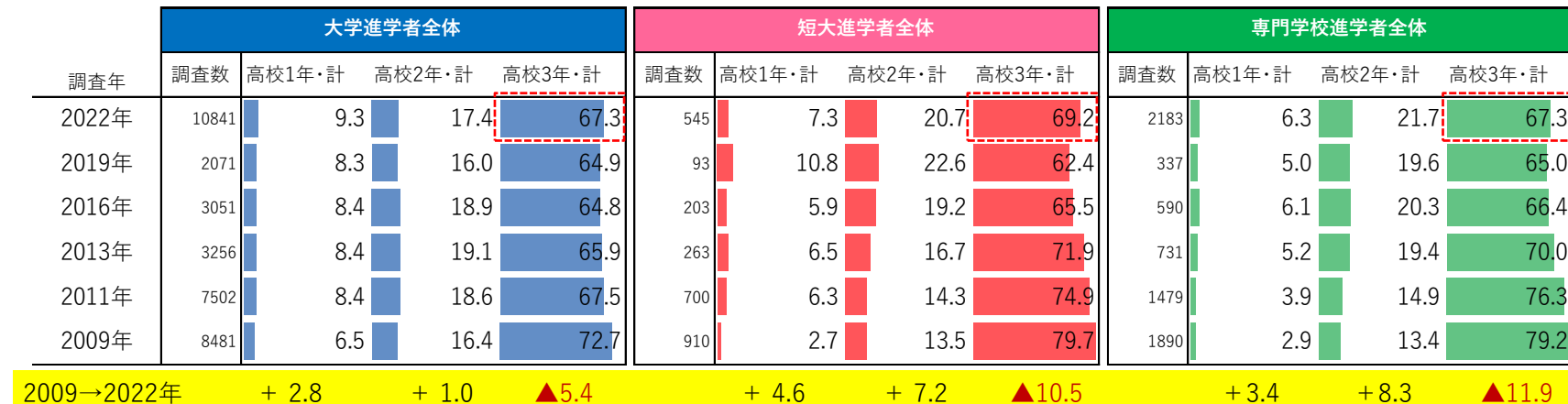
<データポイント>

- 「初めてのOC参加」はコロナ影響で高2参加が大幅減、特に大学は開催中止も多く影響大。
- 「第一志望校に受験を決めた時期」は高3決定が圧倒的に多いが、年々前倒し傾向。

初めて大学・短大・専門学校を見に行った時期（時期別単一回答）



第一志望の学校を受験校に決めた時期（時期別単一回答）



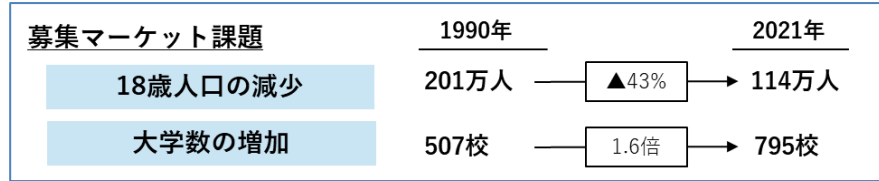
※「高校入学前」「あてはまるものはない」「無回答」除く

①「志望校絞り込み」が早期化

# マーケット環境と年内シフト加速で、出願校数減少

<データポイント>

- 18歳人口減少と大学定員の増加により、2021年では私立大学でも46.4%が定員割れ、定員充足率は99.8%（日本私立学校振興・共済事業団調べ）。



- コロナ影響もあり十分に進路検討できない中、資料請求数は増加したものの出願校数は減少しており、複数校受験する高校生が減少傾向。

興味関心校数・資料請求校数・出願校数・のべ出願件数 平均一覧（各実数回答）

	調査年	調査数	興味 関心校数平均	資料請求 校数平均	出願 校数平均	のべ出願件数 平均
大学進学者全体	2022年	10841	5.69	6.97	2.72	3.80
	2019年	2071	5.78	5.65	3.04	4.01
	2016年	3051	5.78	5.73	2.94	3.83
短大進学者全体	2022年	545	2.26	2.73	1.10	1.14
	2019年	93	2.36	2.32	1.27	1.18
	2016年	203	2.19	2.20	1.16	1.20
専門学校進学者全体	2022年	2183	3.30	4.08	1.22	1.24
	2019年	337	3.20	3.22	1.27	1.28
	2016年	590	3.28	3.20	1.38	1.41

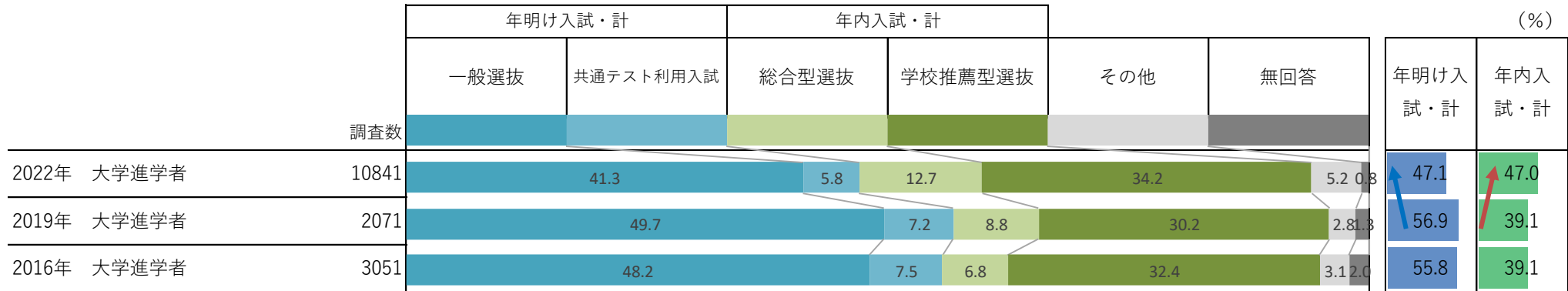
①「志望校絞り込み」  
が早期化  
(大学進学者のみ)

# 年内入試合格で進学する高校生増加

<データポイント>

➤ 年内入試合格層が増えており、受験時期が早まっている。年内と年明け入学層はほぼ同率になった。

進学する大学に合格した入試方法（単一回答/大学進学者）



①「志望校絞り込み」  
が早期化  
(大学進学者のみ)

# 進学校・多様校共に年内入試合格での進学者は増加

<データポイント>

- 年内入試合格による進学者は、進学校（大短進学率70%以上）で約4割・多様校（大短進学率70%未満）で7割弱で、経年で共に増加傾向。
- 年内入試層の2019年→2022年増加ポイントは、進学校+6.2ポイント、多様校+6.1ポイントでほぼ同じ増加ポイント。

進学する大学に合格した入試方法（単一回答/大学進学者）

大短進学率70%以上	調査数	年明け入試・計		年内入試・計			年明け入試・計		年内入試・計	
		一般選抜	共通テスト利用入試	総合型選抜	学校推薦型選抜	その他	無回答	(%)	(%)	
2022年 大学進学者	10841	48.5	6.5	10.2	29.5	4.6	55.0	39.8		
2019年 大学進学者	2071	54.2	7.9	7.4	26.2	2.8	62.1	33.6		
2016年 大学進学者	3051	53.9	8.0	5.1	27.7	3.4	61.8	32.8		

大短進学率70%未満	調査数	年明け入試・計		年内入試・計			年明け入試・計		年内入試・計	
		一般選抜	共通テスト利用入試	総合型選抜	学校推薦型選抜	その他	無回答	(%)	(%)	
2022年 大学進学者	10841	21.0	3.7	19.6	47.9	6.7	24.7	67.5		
2019年 大学進学者	2071	30.8	4.9	14.8	46.6	2.0	35.7	61.4		
2016年 大学進学者	3051	27.1	5.7	12.6	50.5	1.9	32.8	63.1		

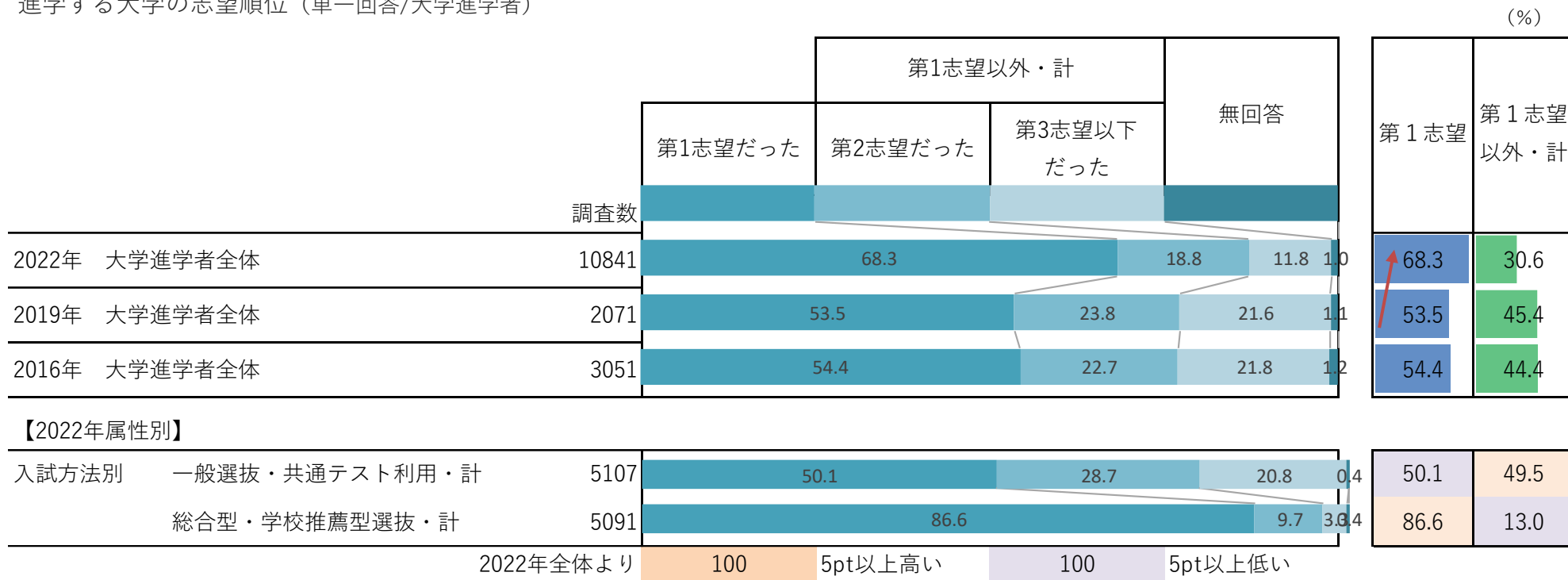
①「志望校絞り込み」  
が早期化  
(大学進学者のみ)

# 第1志望校へ進学する高校生の増加

<データポイント>

- 第1志望校への進学者は68.3%で、前回より14.8ポイントの大幅増加。特に、総合型・学校推薦型選抜合格者の第1志望率は86.6%と非常に高い。
- 総合型選抜や学校推薦型選抜など年内入試へのシフトに加え、年内入試の定員増加、18歳人口減少、受験校の絞り込みなど、“合格しやすい”受験環境となっていることも、第1志望校割合を押し上げている要因と考えられる。

進学する大学の志望順位（単一回答/大学進学者）





# 調査結果から見た、押さえてたい3つの進路選択行動変化

① 「志望校絞り込み」が早期化

② コロナ影響でOC参加率は減少したが、  
4月に進学する学校のOC参加は上昇

③ 進学情報源は  
紙・PC → スマホ・アプリへシフト

## ②OC参加状況

# コロナ影響によりOC参加経験は2022年で大きく減少 特に大学進学者で大きく減少、専門学校進学者は微減

<データポイント>

- コロナ影響でオープンキャンパス参加率は減少傾向。特に高2は休校期間後で大学を中心にOC中止・オンライン化で参加が難しかった。
- 3年間TOTALのOC参加率は大学の減少幅が▲14.2ポイントで、最終進路別内で一番ダウン幅が大きい。

学校主催のオープンキャンパス参加経験（単一回答）

	調査年	調査数	高校1年	高校2年	高校3年	高校3年間トータル (%)	
大学進学者全体	2022年	10,841	41.7	29.1	61.7	79.7	▲14.2ポイント
	2019年	2,071	47.3	71.5	71.4	93.9	
	2016年	3,051	46.5	69.2	74.3	94.2	
	2013年	3,256	38.0	65.2	76.2	93.4	
	2011年	7,502	34.7	63.1	77.9	92.1	
	2009年	8,481	22.8	51.2	72.7	87.8	
短大進学者全体	2022年	545	32.7	43.1	86.4	93.2	▲6.8ポイント
	2019年	93	38.7	69.9	91.4	100.0	
	2016年	203	39.9	62.6	91.6	98.0	
	2013年	263	29.3	61.2	93.5	99.2	
	2011年	700	31.9	60.6	93.3	97.3	
	2009年	910	16.8	46.0	88.4	94.5	
専門学校進学者全体	2022年	2,183	28.2	46.4	88.5	94.8	▲2.5ポイント
	2019年	337	35.0	64.4	86.4	97.3	
	2016年	590	32.7	64.4	92.9	97.1	
	2013年	731	25.9	58.4	92.9	97.0	
	2011年	1,479	24.8	54.0	92.4	95.9	
	2009年	1,890	15.8	41.0	88.4	93.2	

## ②OC参加状況

# 参加形態は、 リアル参加は大学進学者は66%、短大・専門は8割を超える

<データポイント>

- 短大・専門はリアルOC開催がそれぞれ85.5%、87.3%で、大学より20ポイント以上高い。
- コロナ禍においても、短大・専門学校はリアルOC開催方法を模索し、重要視されていた様子が見えがえる。

### オープンキャンパス参加形態

	① リアルオープンキャンパス	② リアルとWeb両方参加	③ Webオープンキャンパス	参加したことがない	リアルオープンキャンパス参加 (①+②)	Webオープンキャンパス参加 (②+③)	学校主催イベント参加率 (①+②+③)
進学者全体 (n=13996)	48.6%	21.1	12.6	17.7	69.7	33.7	82.3
大学・計 (n=10841)	44.6	21.4	13.7	20.3	66.0	35.1	79.7
短大・計 (n=545)	68.3	17.2	7.7	6.8	85.5	25.0	93.2
専門学校 (n=2183)	66.1	21.2	7.5	5.2	87.3	28.7	94.8

※ベース校り条件：「全国エリア」「進学者全体ベース」「全分野」

## ②OC参加状況

# 4月に進学する学校のOC参加は増加 進学先OC参加時に「第1志望だった」は年々上昇

<データポイント>

- 4月に進学する学校へのオープンキャンパス参加率は増加。最終進路校種別全てにおいて、過去調査で最も高い参加率。
- OC参加時に第1志望だったと回答した高校生は最終進路別全てで過去最も高い結果となった。

4月に進学する学校のオープンキャンパス参加経験  
(進学者かつ学校主催イベント参加経験者/単一回答) (%)

	調査年	調査数	参加した (%)
大学進学者全体	2022年	8,641	71.2
	2019年	1,944	66.9
	2016年	2,875	62.4
	2013年	3,042	66.8
	2011年	6,912	67.7
	2009年	7,443	68.6
短大進学者全体	2022年	508	90.4
	2019年	93	82.8
	2016年	199	80.4
	2013年	261	86.6
	2011年	681	81.5
	2009年	860	84.1
専門学校進学者全体	2022年	2,070	94.0
	2019年	328	83.8
	2016年	573	84.1
	2013年	709	89.4
	2011年	1,419	87.3
	2009年	1,762	89.5

4月に進学する学校のオープンキャンパス参加時の志望度合い (進学者のうち進学先イベント参加者/単一回答)

	調査年	調査数	第1志望だった (%)	いくつかの候補のひとつだった (%)	場合によっては入学しても良いかなというくらいだった (%)	入学先としては考えていなかった (%)	無回答 (%)
大学進学者全体	2022年	8,641	59.8	33.2	5.4	2.8	0.8
	2019年	1,944	52.8	31.2	13.5	1.1	1.4
	2016年	2,875	46.4	33.0	16.9	2.8	3.3
	2013年	3,042	49.8	31.6	15.4	2.0	4.4
	2011年	6,912	45.7	34.1	16.2	3.0	3.0
	2009年	7,443	48.6	34.8	13.5	2.0	3.8
短大進学者全体	2022年	508	66.7	27.5	5.0	0.2	0.6
	2019年	93	64.9	15.6	18.2	1.0	1.0
	2016年	199	62.5	26.9	6.3	5.9	5.9
	2013年	261	52.2	27.0	16.4	4.0	4.4
	2011年	681	51.7	29.0	15.3	2.5	5.4
	2009年	860	53.9	31.8	12.0	1.0	3.8
専門学校進学者全体	2022年	2,070	63.0	30.4	4.7	0.6	0.6
	2019年	328	58.5	25.5	14.9	0.4	0.4
	2016年	573	51.0	33.0	13.3	1.2	5.5
	2013年	709	48.6	33.8	14.7	2.0	9.9
	2011年	1,419	47.6	31.2	17.4	2.5	5.2
	2009年	1,762	53.8	31.3	12.7	1.0	6.6

# 調査結果から見た、押さえてたい3つの進路選択行動変化

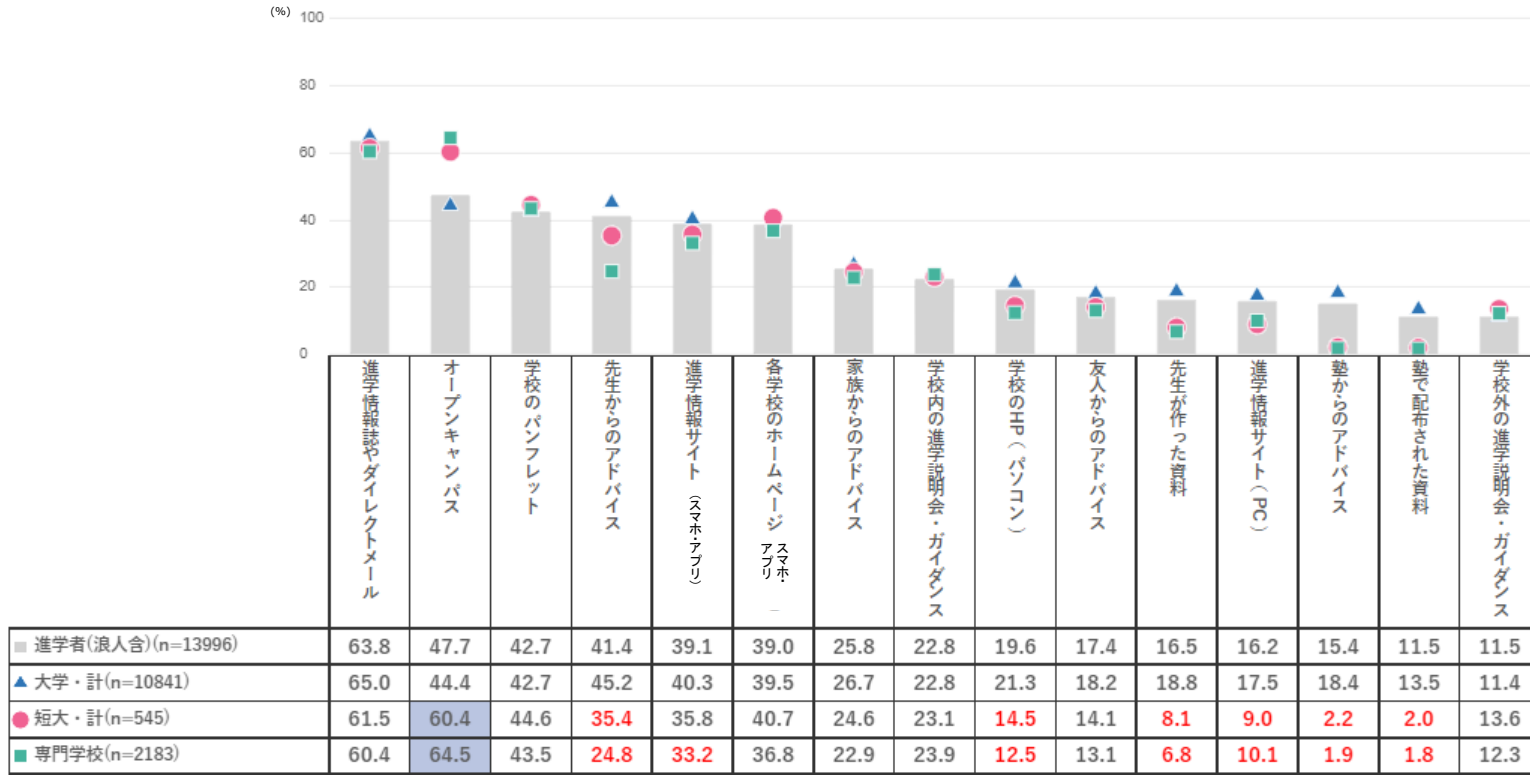
- ① 「**志望校絞り込み**」が早期化
- ② コロナ影響でOC参加率は減少したが、  
**4月に進学する学校のOC参加は上昇**
- ③ 進学情報源は  
紙・PC → **スマホ・アプリへシフト**

# 「進学情報誌やダイレクトメール」が引き続き1位

<データポイント>

- 進学者全体・大学進学・短大進学者は「進学情報誌やダイレクトメール」が引き続き1位。
- 専門学校進学者は「オープンキャンパス」が1位で、情報源としてOCの重要度が高い。

進学に関する情報源（複数回答）



※全体値より ■ : +5ポイント以上高い 10.0 : -5ポイント以上低い

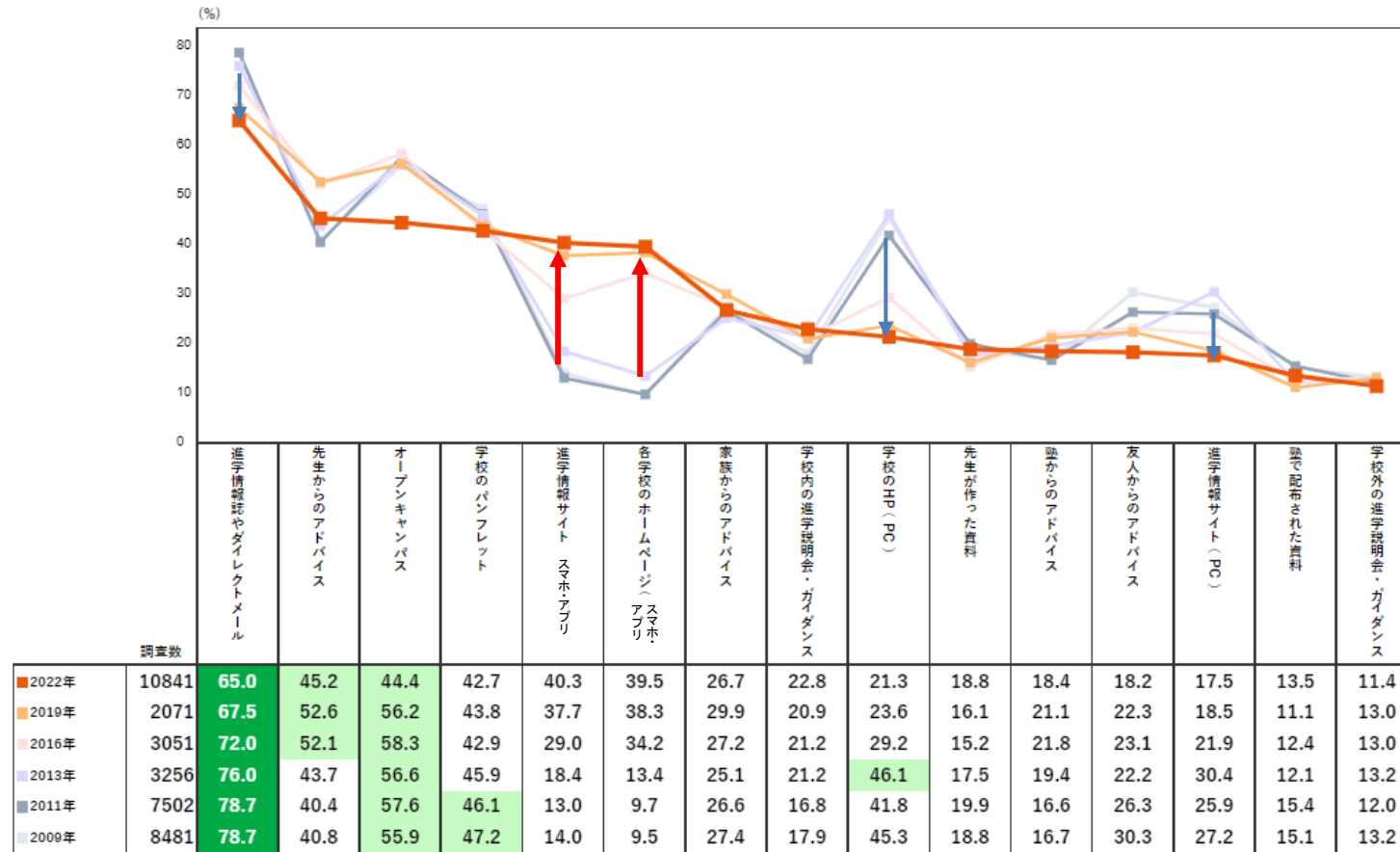
※ベース絞り条件：「全国エリア」「進学者全体ベース」「全分野」

※上位15件の項目を表示

<データポイント>

- 「進学情報誌やダイレクトメール」「先生からのアドバイス」がTOP2。
- 『学校のHP・情報サイト（紙・パソコン）』からの情報が軒並み減少。
- 一方、『学校のHP・情報サイト（スマホ・アプリ）』からの情報収集が増加傾向。

進学に関する情報源（複数回答/進学者全体）



100.0 項目別に最もポイントが高い

100.0 項目別に2～3番目にポイントが高い

- ① 「**志望校絞り込み**」が早期化
- ② コロナ影響でOC参加率は減少したが、  
**4月に進学する学校のOC参加は上昇**
- ③ 進学情報源は  
紙・PC → **スマホ・アプリへシフト**



## ■ アジェンダ

はじめに

調査結果から見た、押さえない3つの進路選択行動変化

調査データ利活用のお知らせ～進学センサスDATABOOK～

# 「進学センサス2022～高校生の進路選択に関する調査～」 進学センサスDATABOOKのご紹介

進学センサス DATABOOK

エリア: 全国 | 最終進路: 進学希望者ベース

進路選択行動 | 情報入手状況 | 学校主催OC参加状況 | 進学先主催OC参加状況 | 結果別比較

進路の移り変わり | 進路変更とその時期 | 希望進路の変更理由<時期別> | 進路選択時期別影響メディア | 進路選択行動時期<時期別>

印刷状況 (資料請求・印刷等)

### 希望進路の移り変わり

	調査数	大学	短大	専門学校	浪人を考えていた	就職を考えていた	進路を決めていなかった	覚えていない	無回答
高校入学時	13,996	70.2%	1.5	7.4	2.6	15.3	2.7		
高校1年生の9月頃	13,996	71.4	2.0	9.2	2.7	12.5	1.3		
高校2年生の4月頃	13,996	74.1	2.7	11.1	2.4	8.0			
高校2年生の9月頃	13,996	76.4	3.2	12.7	2.0	4.4			
高校3年生の4月頃	13,996	78.4	3.3	14.1	1.3				
高校3年生の9月頃	13,996	78.5	3.7	15.0					
高校3年生の12月頃	13,996	78.2	3.8	15.3	1.4				
高校3年生の2月頃	13,996	77.3	3.9	15.5	1.9				
最終的な進路	13,996	77.6	3.9	15.6	2.9				

※最新年(2022年)  
※ベース校り条件: 「全国エリア」「進学希望者ベース」「全分野」

<https://souken.shingakunet.com/research/census-databook.html>



高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。  
「リクルート進学総研」

リクルート進学総研

